

NuPrime ドライバーインストールのご案内

uDSD, DAC9, IDA8, IDA16 共通

改訂:2018/1/22

※必ずご確認ください！

「現在正常動作している場合は Win10 OS、Mac OS のアップグレードを行わないでください！DSD の再生が出来なくなります」

先ごろの Win10 の OS アップグレードにより、OS の構成上、NuPrime が提供する USB ドライバーが使用できず、結果 DSD 再生が出来ないことが判明いたしました。

また、MacOS に関しては、昨年 12 月に公開されました**最新の OS10.13.2** だと、アップル社製以外の USB オーディオでは動作しないものが多く、NuPrime のドライバーも動作いたしませんのでご注意ください。これはハイレゾ対応機を含む全ての USB オーディオ製品で動作しません。認識はしますがデータ転送が正常に行われない状態です。

この問題につきましては、すでに NuPrime 社へ対応を依頼しております。また各 OS 側での対策も行われると思われますので、対応について進展がございましたら改めてご案内申し上げます。ユーザーの皆様にはご不便をおかけすることとなり誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解ご了承の上、解決までお待ち頂けますようよろしくお願い申し上げます。

まずはこちらの手順でお使いの Windows PC、MAC の OS バージョンをご確認ください。

■Windows のバージョン確認方法

キーボードの Windows キー（Windows のマークが記されたキー）を押しながら「R キー」を押します。または、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] の画面内で「winver」と入力し [OK] をクリックします。

表示されたダイアログボックスを確認します。

【バージョン **1709**】と記載がある場合

Win10 の OS は最新の状態（※）で、NuPrime 社のドライバーが使用出来ません。

そのため、「今回実装された Windows」ドライバーのみでの再生となり「ASIO 未対応のため Dop 以外の」DSD の再生が行えません。

※2018 年 1 月 20 日現在

■Mac OS のバージョン確認方法

画面の上部にある Apple (リンゴのマーク) メニューから「この Mac について」を選択します。

開いたウインドウの「macOS」または「OS X」という文字の真下に、オペレーティングシステムのバージョンが表示されます。

上記以前の OS バージョンでしたら、Windows にてこれまで通り NuPrime 社が提供するドライバーがご使用いただけ、全機能をご利用いただけます。また Mac においても正常に音声が出力されます。

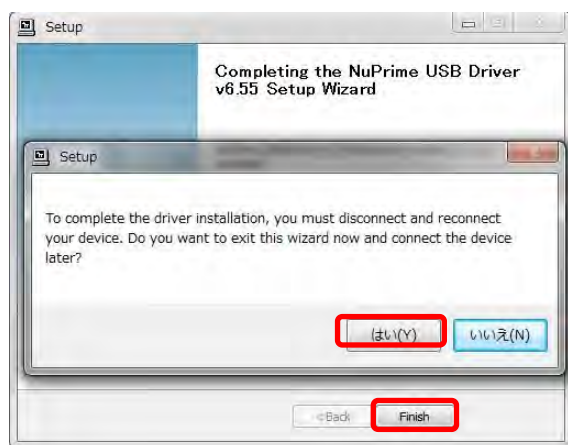
NuPrime ドライバーインストールのご案内

uDSD, DAC9, IDA8, IDA16 共通

NuPrime USB 製品は、Windows PC では Driver のインストールが必要となります。
(Mac、Linux では不要です。)

【ドライバーインストール】

1. ドライバーをダウンロードします。下記の OS をクリックしてください。自動的にダウンロードされます。
* [WindowsXP 用](#)
* [Windows7 および 10](#)
2. uDSD または DAC9、IDA8、IDA16 のお使いの機器を PC へ接続し、機器の電源を入れてください。
3. ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてください。
指示に従い全ファイルがインストールされると、以下のように表示されます。



「Finish」をクリックし、「はい」で終了

これでドライバーのインストールは完了です。

以下は再生ソフトウェアの設定となります。代表的なソフト 2 例を紹介します。

- PCM 再生方法 →通常はこちらをご参照ください。
- DSD 再生方法 →DSD ファイルをお持ちの方のみ参照ください。設定には PC のスキルが必要です

PCM 再生

■再生手順 ※例：Windows10、再生ソフト **foobar2000** 使用

1. **foobar2000** を PC へダウンロードし、指示に従いインストールしてください。

<http://www.foobar2000.org/download>

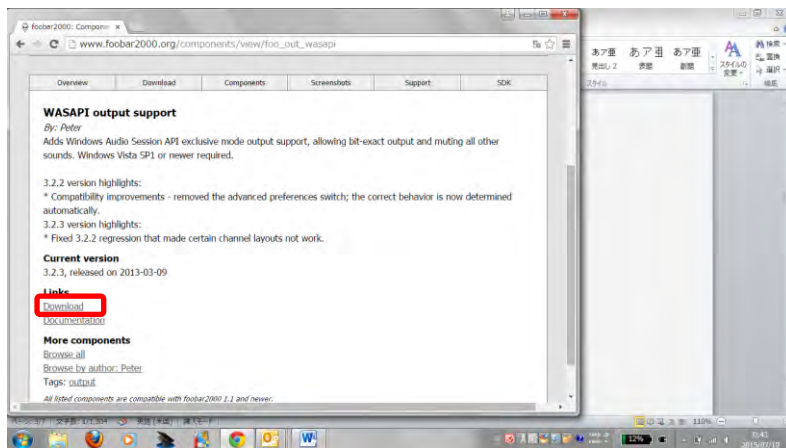
※ 途中、PC が許可を求める場合には「はい」をクリックしてください

2. **WASAPI プラグインのインストール**

次に PCM データのハイレゾファイル等の再生に必要な「WASAPI プラグイン」を追加します。

- ◆ WASAPI とは PC に標準で搭載されている「コアオーディオ」をバイパスして、元のサンプリングレートのままオーディオデバイスへファイルを転送するための Windows の機能です。

http://www.foobar2000.org/components/view/foo_out_wasapi



上記リンクをクリックすると、左の画面が表示されます。

「Download」をクリックし、PC に保存します。

※ 最新のバージョンをインストールして下さい（2017年06月現在、最新は3.2.3となります）

↓

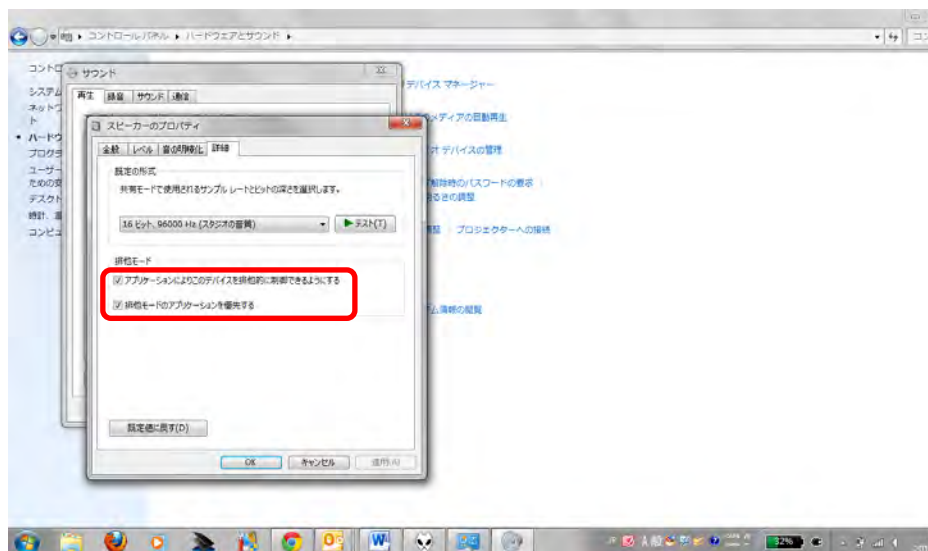
ダウンロードした Component ファイルをクリックしてください。

自動で foobar2000 の「Preferences」（設定画面）の「Components」タブに追加されます。

↓

次に右下の「apply」をクリックして foobar2000 を再起動してください。

- ✓ 以下の「サウンド設定」を確認してください。(uDSD、IDA8、IDA16 を PC へ接続した状態)
- 「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「サウンド」を開き、「再生」タブ中の uDSD 等が「既定値」として選択されているか、(※既定値として選択されていない場合には選択)
- さらに右下にある「プロパティ」をクリックし「詳細」タブの「排他モード」項目 2 つにチェックが入っていることを確認してください。



「排他モード」の項目 2 つに
チェックがついていること

* Windows10 では「パーソナル設定」→「テーマ」の中にサウンドの詳細設定があります。

3. ASIO プラグインのインストール

次に ASIO プラグインを追加します。

- ◆ この機能は DTM 制作のために開発されたもので、WASAPI よりさらに低レイテンシーでデバイスにデータ転送を行います。Windows のみの機能です。

下記ページより、「Download」をクリック

http://www.foobar2000.org/components/view/foo_out_asio

WASAPI と同様にインストールしてください。

以上で PCM 再生に必要な機能は追加されました。

ハイレゾ再生には WASAPI 用ドライバー、または Asio ドライバーを使用して下さい。音質は異なりますのでお好みでお選びください。

補足：一般には Asio での再生は音質面に優れているとされ、さらに、382k/24 まで対応しています。

Asio ドライバーを使用する際には、Foobar2000 の「File」>「Preference」>「Playback」>「OUTPUT」画面の「Device」タブから「Asio:NuPrime ASIO driver」を選択します。

※ これらは PCM 専用ドライバーです。

ご注意：難易度の高い機能ですので、自己解決可能な方のみ設定をお薦めします。

DSD 再生

■ Foobar2000 での再生 *以下のコンポーネントが必要となります。

「**Super Audio CD Decoder**」

https://osdn.jp/projects/sfnet_sacddecoder/

I. 上記サイトより最新バージョンをダウンロードして、zip ファイルを解凍してください。



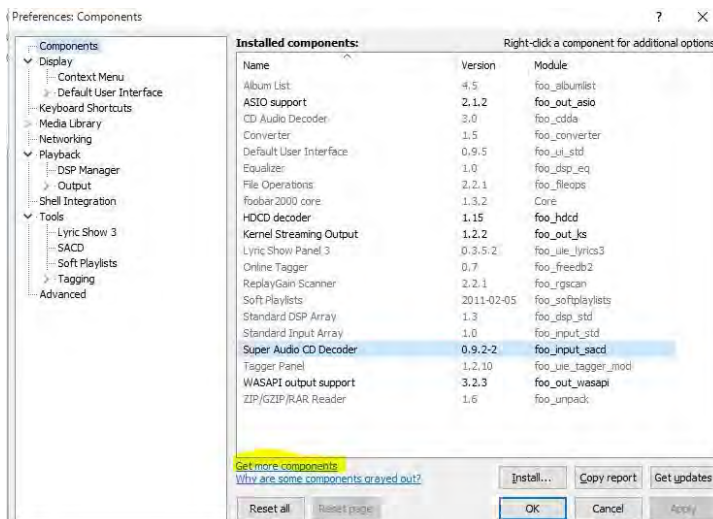
II. 解凍したファイルをダブルクリックすると自動で foobar2000 の Component に登録されます。



解凍したファイルを
ダブルクリックする

III. Apply をクリックして完了です。

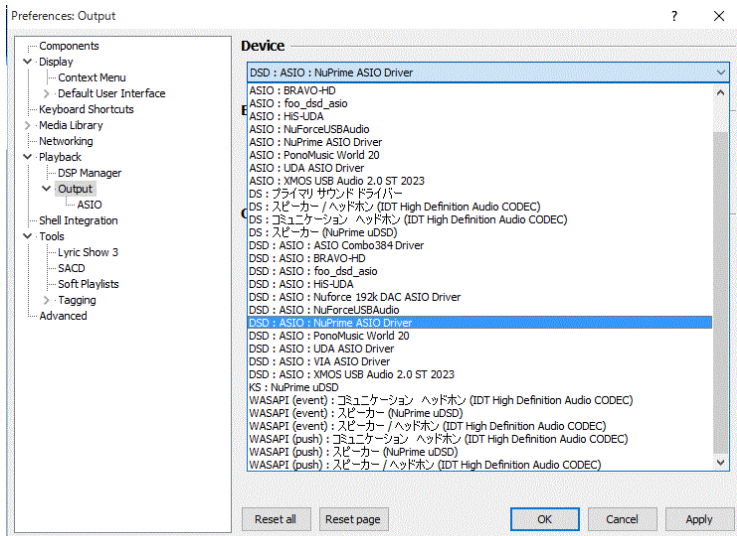
*これは DSD 等を再生するためのプラグインです。以下のように登録されます。



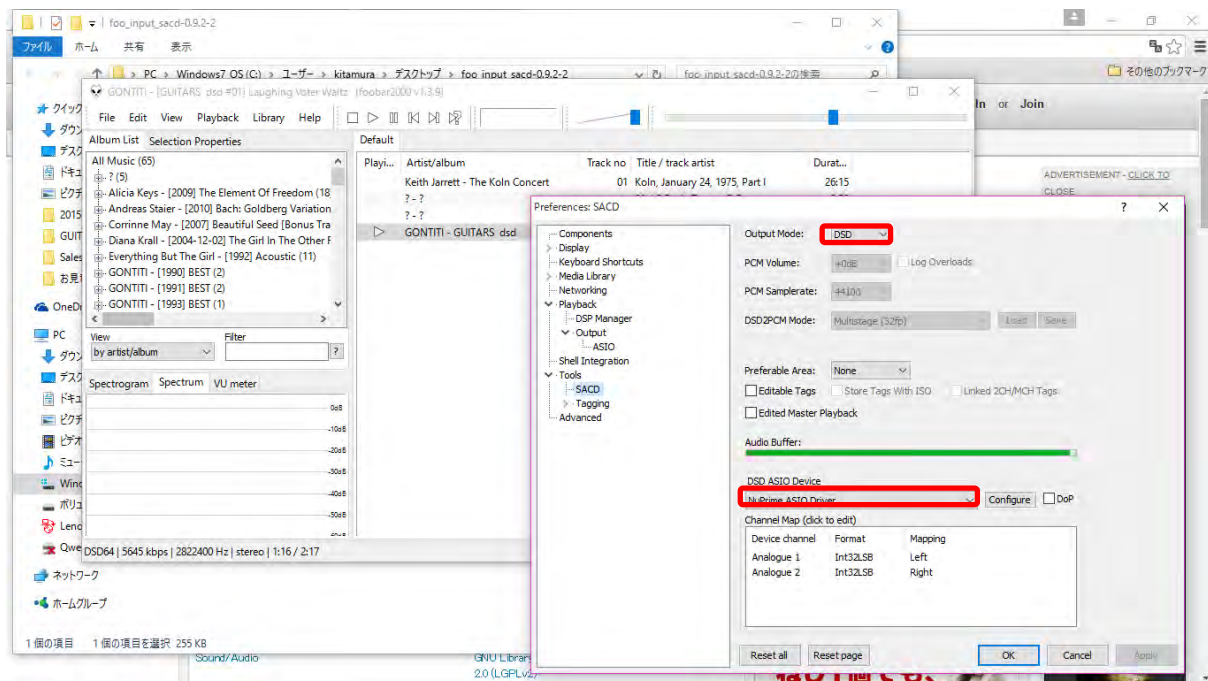
2017/06 現在 1.0.9 になります。

「DSD256 までの再生方法」

- ① 「Playback」 > 「OUTPUT」 タブからドライバーに「DSD:ASIO:NuPrime ASIO Driver」を選択します。



- ② 同じく「Playback」 > 「OUTPUT」 > 「SACD」 から「OUTPUT MODE」を PCM から DSD へ、DSD ASIO Device を「NuPrime ASIO Driver」へ変更。



DSD:ASIO: と表示された Driver では DSD ネイティブ再生を行います。

DSD 64,128, 256 の全てが再生可能となります。また PCM 再生もそのままご利用いただけます。

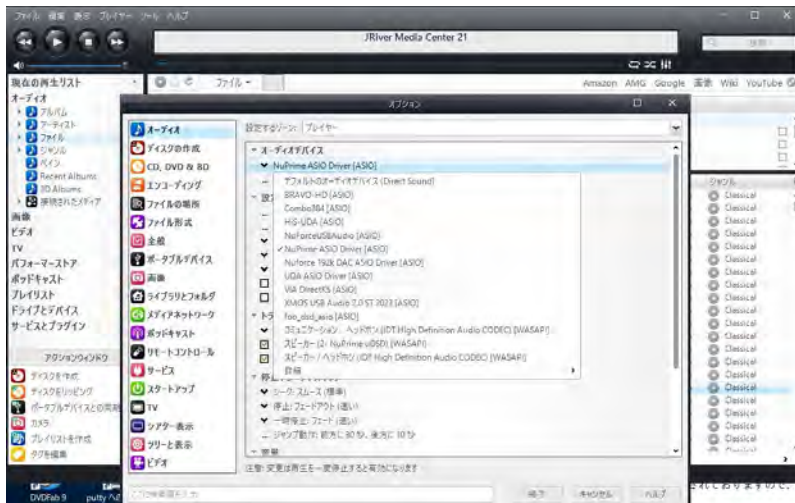
有償ソフトについて

※こちらに関しては任意でご確認ください。

再生ソフトとして利便性、音質面とも優れているとされる JRiver Media Center に関して、ご使用方法のポイントと注意点です。

PCM 再生

「ツール」→「オプション」にてオーディオの設定をしてください。



「NuPrime ASIO Driver」と「スピーカー NuPrime uDSD:WASAPI」が使用できます。

DSD 再生の注意点

DSD64、DSD256 再生時の設定

*上記の「オーディオデバイス」中の「設定」にある「DSP と出力ファイル」を設定します。

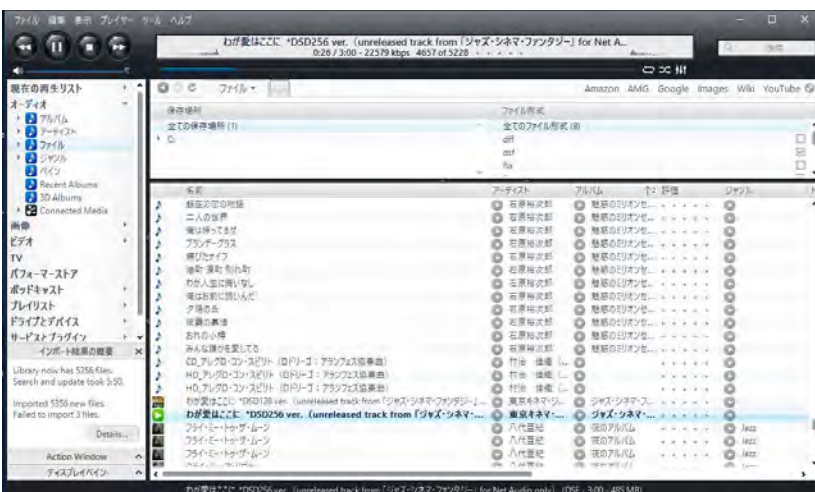


4 x を選択します。

注意：

DSD128 を再生時には、
2 x を選択します

以下のように DSD256 を再生可能となります。



Mac について

OS の持つ標準ドライバーにて動作いたします。

コアオーディオにおいて NuPrime 製品を音声出力の規定値に設定してください。

※ 音が出ない場合は、まず音声出力の規定値をご確認ください。

ご存知のように Mac では Dop 方式のみ再生可能となっており、DSD のネイティブ再生は OS の制約からできない仕様となっています。

なお、有償になりますが Dop 対応の再生ソフトにて DSD128 までの再生が可能です。詳しくは各再生ソフトの取扱説明書をご覧ください。

ご注意：

foobar2000 等でのファイル再生について、上記ソフトウェアのインストール手順をご案内しておりますが、ソフトウェアは常時更新されておりますので、表記や手順が異なる場合がございますことご了承ください。

foobar2000 など再生ソフトについてのご不明な点は、各ソフトのカスタマーサポートへお問い合わせください